

Tachikoku Times

No.0027 9月号

東京都立立川国際中等教育学校
<http://www.tachikawachuto-e.metro.tokyo.jp>

Monday September 21, 2020

4年進路講座 東大と高大連携講座

9月14日(月)、在学中から大学の高度な講義に触れられる立川国際独自の教育活動、「高大連携講座」が行われました。7年前から東京大学の先生方による特別講義を行っています。今回は、東京大学生産技術研究所の川越至桜先生(准教授)をお迎えして、「探究活動の進め方・まとめ方」について講義をして頂きました。これからの現代社会で必要とされる能力を身につけるには、探究活動が適していると言われています。講義では、探究活動についてテーマの設定方法や研究の進め方、プレゼンテーションのノウハウなど、スライドを用いた丁寧で詳しい説明があり、参加した4年生の生徒の今後の指針となりました。「自己実現」に向けて「学力」を蓄えていくのは当然ですが、学力のみならず、「探究活動」に取り組んでいく力も身につけ、生徒が将来の「理想の自分」に近づくことを望んでいます。



第2学年 弁論大会

9月9日(水)、第2学年の「弁論大会」が行われました。各クラスで予選を行い、クラスの代表として8人の生徒が発表をしました。自分の好きなことば、好きな事柄、自分の「柱」となっている事、発表者は胸をはって堂々と自分の思いを学年の仲間に伝えていました。発表内容に何かを感じ、自分で調べてみようと思った生徒もいたことでしょう。今回の弁論大会が、発表した人にとっても、発表を聞いていた人にとっても自分たちの成長の一步になると期待しています。



弁論大会 発表者のテーマ

- 「心と将棋」
- 「心にとっての一番の栄養は負の感情である」
- 「ネガティブの役割」
- 「言葉は心の鏡」
- 「心の筋肉を鍛える」
- 「みんな違ってみんないい」
- 「心を仮定してみる」
- 「おもちゃの心」

部活動報告

今年度の剣道部は1年生男子7名、女子4名の11人が入部し、日々稽古に精進しています。新入部員の9割が初心者ですが、その入部動機には最近流行のアニメの影響が強いようです。強くカッコいい剣士を目指している新入部員。先日届いた新品の稽古着に袖を通し、慣れない袴に苦戦しながら、竹刀を構えて喜んでいる姿がありました。今後の成長が楽しみです。「初々しい剣士」です。



剣道部

家庭科部は、第1家庭科室で、毎週火・水・金曜日の放課後に、自分が思う手芸作品を自由に作っています。わ

からないところ等は部員同士教え合ったり、顧問の先生に聞いたりしています。例年文化祭の時に作品を展示しています。また今年度は感染症対策の影響で展示発表等は未定ですが、自作のレシピによる調理

家庭科部

実習を数回実施しています。

